

## 情報公開文書

研究の名称	HER2 コントロールブロック作製法の検討
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	病理部 田近洋介
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 2014年4月から2024年3月の間に当院にて乳癌または胃癌に対して手術を施行した方でハーセプチン治療のための検査(HER2免疫染色病理検査)をされた方。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 胃がんおよび乳がん患者の一部ではHER2免疫染色が陽性となるが、免疫染色には検体と同じプレパラート上に陽性となる組織を乗せて染色することが望ましい。tissue microarrayを用いてHER2免疫染色のコントロールブロックを作製し、精度管理に使用できるか検討します。この研究によって免疫染色で使用可能なコントロールのブロックを作製でき、精度管理に活用できると見込まれます。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 1. 診断書によりHER2免疫染色の結果が陰性、(1+) (2+) (3+)である診断の済んだ症例のブロックを対象とします。 2. tissue microarrayを用いてコントロールブロックを作製する。免疫染色の結果が良好か、精度管理に使用可能であるかを明らかにします。</p> <p><b>【研究期間】</b> 実施許可日 ~ 2026年3月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 日本医学検査学会での発表を行います。</p> <p><b>【用語の解説】</b> 1. HER2免疫染色とは、がん細胞にあるHER2タンパク質を調べる検査です。HER2がんの診断や、HER2陽性の場合にはターゲットとする治療法の選択肢を提供するのに役立ちます。 2. Tissue microarray (TMA)とは、多くの異なる組織サンプルを小さな円筒形の形で一つのパラフィンブロックに集めたものです。これにより、多数の組織サンプルを同時に分析できるようになります。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	乳がんや胃癌の組織ブロックと病理診断書のHER2染色結果を用います。本学のみで利用します。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。

試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 田近洋介
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7745 FAX 076-434-5109 E-mail <a href="mailto:tajika@med.u-toyama.ac.jp">tajika@med.u-toyama.ac.jp</a> 担当者所属・氏名 病理部 田近洋介